「ソーラス相関図 」

アイリーン・アイヴァース

「フィドル界のジミ・ヘンドリックス」と評されるニューヨーク出身の超絶技巧フィドラー。

チェリッシュ・ザ・レイディーズ

アメリカを代表する女性だけのアイリッシュ・トラッド・バンド。

サラ・マクラクラン

グラミー賞を３度受賞した、カナダを代表するシンガーソングライター。

シャロン・シャノン

アイルランドで国民的人気を誇るアコーディオン奏者。代表曲「Galway Girl」は空前の大ヒット。

ルナサ

アイリッシュ・ミュージックのドリーム・チームと評される５人組バンド。

初代フィドラーとして出演

シェイマス・イーガン、初代ギタリストのジョン・ドイルがアイリーン・アイヴァースのアルバムに参加。ライヴにアランがサポート・ギタリストとして参加。

ウィニーは 1990 年〜1993 年の間、在籍。最初はダンサーとして参加していたが、その後フィドラーとしてバンドを支えた。実はウィニーは全米アイリッシュ・ダンス選手権で９回優勝している名ダンサー。

シェイマスのインスト曲を元に、サラが作詞を書き下ろし「I Will Remember You」を完成させ、大ヒット。その後、このライヴ版がさらに特大ヒットとなり、2000 年の第 42 回グラミー賞を受賞！

フィドルのウィニーは、ルナサのベースのトレヴァー、元ギターのドナと共にシャロン・シャノンの初期のバンド・メンバーとして活躍。

アランが、ルナサのアメリカ・ツアーでサポート・ギタリストとして参加。

「リバーダンス」

世界的に大ヒットしたアイリッシュ・ダンス舞台。初代出演者には、ジーン・バトラー、アイリーン・アイヴァース、アヌーナが在籍した。

チーフタンズのグラミー受賞アルバム『ロング・ジャーニー・ホーム』にシェイマスがバンジョーで、ジョンはアコーディオン／コンサーティーナで映画『遥かなる大地へ』のサウンドトラックでチーフタンズと共に参加。

ザ・チーフタンズ

グラミー賞７個受賞を誇る、アイルランドの国宝と言われた伝説的バンド。R・ストーンズ、スティング、J・ミッチェル、パヴァロッティなど世界中のスーパー・スターと共演。

初代プリマドンナとして出演

ソーラスの 2005 年の日本ツアーのときに、ジーンがゲスト・ダンサーとして同行。

ジーン・バトラー

『リバーダンス』で初代プリンシパル・ダンサーを務めたアメリカ出身のトップダンサー、振付師。17 歳の時にザ・チーフタンズのダンサーに抜擢され、約６年にわたって、ツアーに同行。

ジーンのプロジェクトのアイリッシュ・ダンスの舞台『ダンシング・オン・デンジャラス・グラウンド』にシェイマスは音楽を担当。ソーラスもサウンドトラックに全面参加。

2026 年 12 月 9 日
「ソーラスとハンバート ハンバート〜合奏は楽しい」（@すみだトリフォニーホール）で初共演。
乞うご期待！

カルロスのアルバム『シネマの海』にソーラスが参加。ソーラスとカルロスは合同でヨーロッパ・ツアーを行った。

チーフタンズに見出され、「第７のメンバー」として、チーフタンズのワールド・ツアー、レコーディングに参加。グラミー賞受賞アルバム『サンティアーゴ』の制作に大きく貢献。

グラスゴーのケルト音楽最大のフェス「Celtic Connections2013」で開催されたソーラス『Shamrock City』のリリース記念ライヴにカトリオーナとクリスがゲスト出演。

ハンバート ハンバート

アイルランド／ケルト音楽もルーツに持つフォーク・デュオ。過去にチーフタンズ、フィドラーズ・ビド、カトリオーナ・マッケイ＆クリス・スタウト、ウィ・バンジョー３、ティム・オブライエンと共演。

ソーラスのアルバム『シャムロック・シティ』収録の代表曲「Lay Your Money Down」にリード・ヴォーカルで参加。リアノンとシェイマスは、お互いを深くリスペクトし合う、大切な音楽仲間。

カルロス・ヌニェス

ケルト音楽を代表するスペインのケルト文化圏ガリシア出身のガイタ（ガリシアン・パイプ）／ホイッスル奏者。

フィドラーズ・ビド／カトリオーナ・マッケイ＆クリス・スタウト

スコットランド伝統音楽を革新する、ハープとフィドルのデュオ。二人はスコットランド伝統音楽のバンド、フィドラーズ・ビドのメンバー。

シェイマスとジョンがティムの代表作『The Crossing』に参加、またフェスや二人の周辺アーティストの作品でも二人は共演。

フィドラーズ・ビドとの EP『合奏』と共作。2008 年カトリオーナ＆クリスとコラボ・ライヴを行う。2011 年グラスゴーで行われたケルト音楽のフェス「ケルティック・コネクション」でフィドラーズ・ビドと共演。

ティム・オブライエンをサウンド・プロデューサーに迎えてアルバム『むかしぼくはみじめだった』（2014 年）をナッシュヴィルで録音。

リアノン・ギデンス

グラミー賞受賞歴を持つ、アメリカン・ルーツ・ミュージックを代表するシンガー・ソングライター、バンジョー奏者。

ティム・オブライエン

グラミー賞を２度受賞のナッシュヴィルを代表する重鎮。アイルランド伝統音楽とアメリカのルーツ音楽を繋ぐ重要人物。